

平成 19 年 8 月 3 日

2 号機屋外軽油タンクの防油堤内における油漏れについて

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 2 号機は定期検査中ですが、原子炉建屋西側（屋外）にある非常用ディーゼル発電機^{*1}燃料用軽油タンクの防油堤^{*2}内（非管理区域）において、当該軽油タンクから燃料タンクに軽油を移送する準備をしていたところ、平成 19 年 8 月 2 日午前 11 時 42 分頃、軽油の移送量を測定する流量計から防油堤内の床に油（軽油）が漏れていることを当社社員が確認し、同日午後 0 時 6 分頃、消防本部へ連絡しました。

油漏れは当該流量計の上流側にある弁を閉じたことにより停止しました。漏れた油は約 11 リットルで、拭き取りにより回収しております。

今後、原因について詳細に調査します。

これによる外部への放射能の影響はありません。

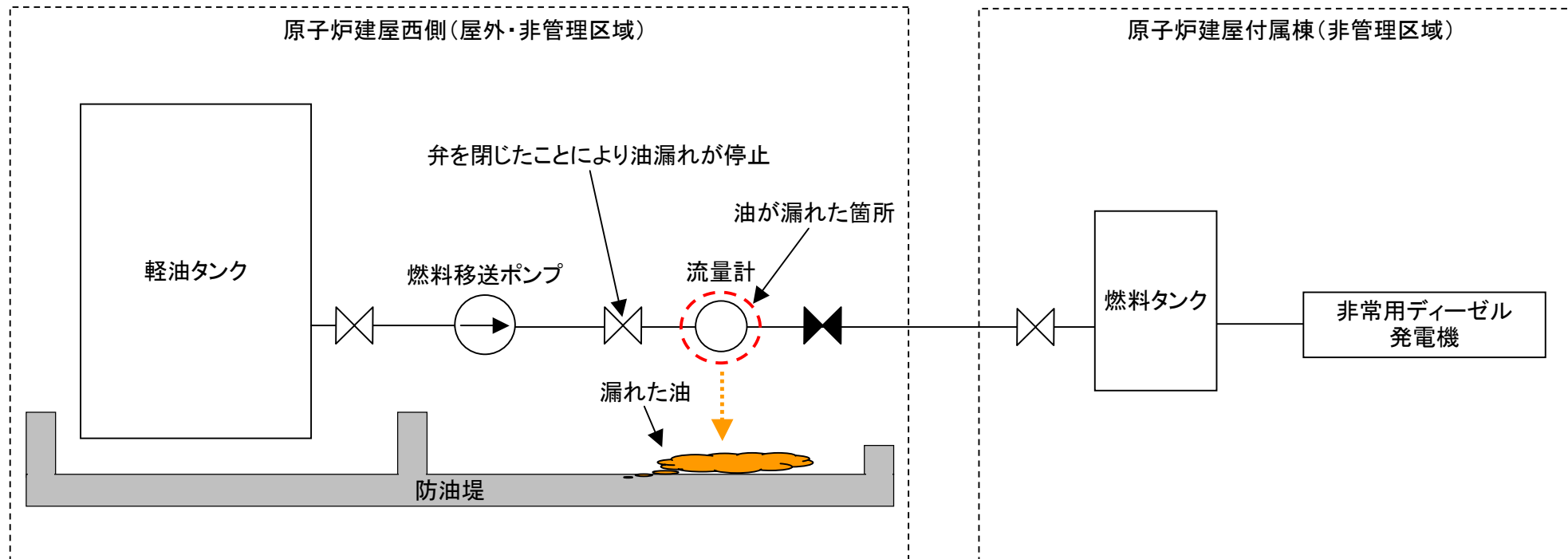
以 上

* 1 : 非常用ディーゼル発電機

所内電源喪失時に所内へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機で、各号機に 3 台ずつ設置されている。

* 2 : 防油堤

油などが漏れた場合に、その流出を防止するための堰（せき）。



⊗ : 弁「開」状態

⊠ : 弁「閉」状態

非常用ディーゼル発電機用燃料移送系統概略図